

パブリックコメント手続の結果

別添1

計画全般に関するご意見（8件）		市の考え
1	今回のパブリックコメント資料（2022年版）を拝見すると、次のように感じる。 一般的市政方針に見え、タイトルに他の自治体の名前を付けても使えそうである。 市内の学生をはじめ多くの市民の参画を得て纏められたようだが、日常の改善希望点が多いようである。これは一般的な傾向であるが、纏め方に工夫が必要である。 新たなデザインコンセプトは未だ創出できていないように見える。	八王子らしさや、分かりやすさなどに対しては意識して取り組んでおります。頂いたご意見を踏まえ、今後の冊子策定あるいは来年度以降の事業展開において市民の皆様にもご理解をいただき、ともに取り組んでいただけるよう尽力いたします。 なお、子育てを含め、分野横断的な取組や、地域特性に応じたまちづくりは計画内に盛り込んでおり、仕組みの構築も含め積極的に取り組むとともに、108の細施策に基づいた具体的な取組については、今後、策定予定の(仮称)重点計画においてお示しする予定です。
2	未来デザインコンセプトを上げるために 中心となってPJを引っ張るプロのクリエイター、Plannerが必要と思う。立川、町田などとは違う八王子の未来コンセプト像を市民全員で共有したい。	
3	市民を始め多くの人と時間をかけて策定した努力は認めるが、残念ながら評価が難しい内容である。年初より様々な情報提供いただく中で、私見だが、地域の計画づくりの要諦は ・泥臭く ・分かりやすく ・覚えやすく ・美しく と思うようになった。 施策37に対応する細施策108項目は具体的実行計画に最も近いにもかかわらず、よい意味での「泥臭さ」が全く感じられない。これからの8年間、この108項目が市民の記憶に留まる努力目標となり得るのだろうか。「みんなで目指す2040年の姿」もあわせてこの表現はSDGsで展開された手法の模倣であり、今では既に陳腐な表現だと思う。「細施策」はSDGsの17Goal 169Targetを避ける表現法としての苦肉の策と感じられる。 「美しく」については、語彙、表現力、論理性が不十分だと思う。安易にイラストや画像で逃げるのではなく、まず分かりやすい文章で伝える力を磨いていただくように期待している。例えば、前回のパブリックコメント124市の考えにおけるwantsと needsの誤った理解や同126の「自律」と「自立」の混同など、論理の詰めの甘さが感じられる。	
4	基本計画では「都市像」「みんなで目指す2040年の姿」「未来」さらには「カーボンニュートラル」(2050政府目標)など錯綜する時間軸の中で2030年長期ビジョンとの相関が分かりにくくなっている。実際に施策では、最新の目標である「みんなで目指す2040年の姿」ではなく、多くを「都市像」と関連づけるという混乱が生じている。	
5	八王子市の人口推計、将来予測を観ると、全てが喫緊の課題と言えるが、各施策の策定と実現化を行う各担当部署に、横断的・総合的に判断し、適所に渡したり即決のできる仕組みを作って対応して頂きたいと思う。市民参加の余地はそこにもあるように考えられる。	
6	市民の声としては多岐に亘りこれと言った意見はないが、あって欲しい「夢」を語る将来と、いくつかの課題を抱えている事実を踏まえて、その夢の実現に向かって行政、市民（地域を含む）はどうすればよいかの計画を練ることが大事。	
7	未来デザインの施策として、 6つの都市像に伴う37の施策があり、 重要テーマ・取組方針に関連付ける主な取り組み、 変革のキーワード（新時代を生き抜くみんなの合言葉）、 未来を拓く原動力（住み続けるまちをよりよくするエンジン）として、大まかに述べられている。どれも、大変素晴らしく、それら施策が、動き出したら、素晴らしい街となる。 そこで、これらの施策や、重要テーマ、愛言葉、だけではなく、具体的な施策案があると大変分かりやすいと思う。 具体的な施策や、 の未来を拓く原動力「地域自治」「共創」こそが、市民一人ひとりに最も、必要で、重要なまさしく「エンジン」だと思う。これを中心に考えてゆく必要があると思っている。 今、市が変革のキーワードとしているものの一つに「カーボンニュートラル」がある。待ったなしの環境問題として、私自身の個人的思いとしては、「カーボンニュートラル」の方が、「デジタル・トランスホームーション」より、市と市民が連携し、早急に、取り組む問題だと思う。「今から自分でできる・・・」ではなく、直ちに取り組むべき問題だと思う。 八王子市は、広域な市であるが、幸い、地形的、歴史的発展による個性的な地域が幾つもある。山と緑の山間地域、都市型地域、農業地域、住宅地域と、各地域は、個性と特徴をもっている。それぞれが持っている地位の個性に配慮し、そのエンジンの上に、地区のテーマを乗せていただきたい。そして、地域の特性に合ったテーマを走らせていただきたい。もちろん、市と市民との協働である。 いろいろな地区の特徴や個性を踏まえて、地区の目標や目的を設定し、市民が集まり、知恵を出し、活動をすることで共通の目標を持ち、その結果の達成感を共有することで、施策にある都市像1～6までの状態を、作りえることにつながると思っている。 そのために、市のイニシアチブと、未来デザインの実現のために、さらに具体的な取り組みをうちだしていただき、市民が、エンジンのかかった「地域の自動車」に乗ることができ、多くの市民の方々とふれあい、共に活動し、共に考え、自分たちが、自分たちの未来を協働し、自ら作りあげることで、この街（八王子）への愛着、いとおしみもより強くなってゆくと感じる。 地区の特徴を踏まえた具体的な施策の設定が、重要になると考える。	
8	少子高齢化を危惧されているのであれば、高齢者の予算を減額して、子供及び子育て世帯を手厚くして、子育ての町八王子として欲しい。 そうすれば、子育て世帯の若い人をターゲットとした住環境としてのまともな街づくりをこの2040計画でも策定できるかと思う。	

策定手法に関するご意見（12件）		市の考え
9	第6回懇談会3の意見「市が決めたルールに乗っている」には同意せざるを得ない。発車した列車は進路変更が難しいのではなく、変更自体が既に不可能という印象がある。なお、市民が閲覧できる懇談会議事録ではフォーマットの半分近くが定型項目で肝心の意見は短い上に見にくく、発言者への敬意があまり感じられない。これを見ると懇談会の発言はさもありなんと思う。	今回の策定に当たり、各種アンケートをはじめ、懇談会、大学生・高校生、中学校区のワークショップなど多様な市民参加手法により、意見を聴取しました。 懇談会では専門的な立場からのご意見、各地域や市民の皆様のご意見をいただけたことは、施策等を検討するうえで有益であったと考えています。 今後、人口減少・少子高齢化が進む中、住みたい、学びたい、働きたい、子育てしたいと考える若い世代が将来にわたって暮らし続けられるまちづくりを進めていくためにも多様な市民参画の機会を確保し、市民協働を進めていくことが重要であると考えています。 これまでの意見聴取、政策研究等の結果を踏まえ、重点テーマ・取組方針に関連づく施策展開等を協働・共創により進めていきます。
10	前回のパブリックコメント124でも申し述べたが、「みんなで目指す2040の姿」を目標としたことが失敗だったと思う。あくまでも市民の願望、期待に留めるか、さもなければせっかくの膨大な市民の期待(wants)をもっと論議を尽くして、より本質的な必要性(needs)を見極めて、参加者が共有することができたらよかったと思う。その意味では、ワークショップにおけるリーダーシップが十分発揮されたのか、疑問が残る。この初期段階のつまづきが大きく影響したように思う。	
11	数ヶ月前にあった「広井教授解説のシミュレーション」や今回同時実施するアンケートは、見せかけの努力「やってる感」につながりかねないので、十分留意して対応されるよう望む。	
12	計画策定に関する会合の外部委託を辞めていただきたい。以前参加した際に、外部に託してて、役に立っていない。会義中話が全然違う方向へ進み、全く関係ない事へ話が逸れているのに、止められない、軌道修正出来ないなら意味が無い。それならまだ、不慣れでも職員が直に仕切っていただいた方が、たとえばぐちゃぐちゃになっても参加していて頑張ってるなど応援出来る。更に、これからの八王子をよくしたいから余計な費用を使って外部委託せずに、職員たちで回してるという方が直接市民の声も聴けるし、よりダイレクトに反映できると思う。	
13	空き家、地域自治、災害時、町おこし等、全てにおいて申し訳ないが、老人にはできない。本当に先を見据えて何が必要か？2040パブリックコメントなんて無駄な事してないで、基本的な事を考えたら自然と良い答えが出ると思う。	
14	原案は非常に理想に近く、あと18年先の現実になるかもしれないが、もっと、具体的に今の各地域の現実の姿を見て、なぜ、今の姿になっているのかの分析を行わないと、真の原因がつかめないと思う。その原因を改善していくのが未来へ繋がると思う。各地域によって、町含めた環境と人の考え方に温度差が有り、理想に近づけるのは困難と考える。今の若い30～40代の方々が大勢参加する場を多く持ち、進めるベクトルを同じにしていくなべきである。今の会議の参加者は高齢者が多く、過去の考え、進め方では若い人達が考え方も異なるのでベクトルが合わないと思う。よって、若い人達は仕事があり、拘束するのが難しいとは思いますが、どうすれば多くの若い人達が参加できる会議を考えて、意見を積み重ねると将来が見えてくるかも知れない。	
15	温故知新を思い出すとともに、外国の良いところを真似るべきだ。	
16	未来をデザインするためには、無意識に“前提”として使用しているものがないかを科学的に思考し、見つかった場合は、それを疑うことが大切だ。	
17	日本語で考えてもダメなら英語で考え、それでもダメなら数学で考えるとよい。	
18	D×ありきではなく、まずは体裁を0点にすることを考えるとよい。	
19	未来をデザインする際は、多様なメンバーで行うとよい。	
20	町中にこそ先生はいるという精神で、他分野・ジャンル・テーマを疑って欲しい。	

重点テーマ・取組方針に関するご意見（4件）		市の考え
21	八王子未来デザイン2040の全体像、基本的にはその通りであると思う。特に、重点テーマの中で、人口減少の問題を優先課題として頂きたい。未来の主役は、子供である。そして、2040の素案を作る過程に於て、特にお願いしたいのは、全部の部署の職員が参画して作成することである。今までも、共有を全く出来ていないので、特にお願いしたい。	令和12年度(2030年度)までに重点的・分野横断的に取り組む「未来の主役づくり」、「未来へのつながりづくり」、「未来に続く都市づくり」の3つの重点テーマと9つの取組方針を定め、限りある経営資源を集中して投資していく考えです。 なお、頂いたご提案は、人口減少・少子高齢化への対応や、災害の脅威から市民の命を守る強靱なまちづくりの推進に向け、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
22	ビジョンなので総花的になるのは仕方ないと思うが、柱が分かりにくい。また、現状や過去からのトレンドから今後どんな問題が起きていくのかを分析した上で、どの分野に注力しようとしているのかが分かりにくい。	
23	右肩上がりじゃない現状を踏まえると、推進すべき重点項目を明確にして、そこだけに注力するしかないと思う。	
24	河川水害の対応策 昨今は猛烈な台風、線状降水帯等により、過去に水害が起こらなかった地域・場所でも豪雨災害が多数発生している。特に、河川の合流地点でのバックウォーター現象による氾濫も多くなっている。私の居住地域は城山川と大沢川に挟まれた合流付近のため、極めて強い危機感をもっている。	

未来を拓く原動力に関するご意見（1件）		市の考え
25	市民の人口推移データを開示し、市民が『地域自治』や『共創』に活用すべきではないか。八王子は広大で多様な地域性があるため、地域人口や世代別構成、定住年数などとともに市民人口が現状、2040年時、2040年以降とどのように推移（予測）するかを『地域自治』や『共創』を担う市民と共有して活用することが重要と考える。	今後、公表する人口ビジョンでは、6圏域ごとの将来人口推計をお示しする予定です。

変革のキーワードに関するご意見（7件）		市の考え
26	行政面ではDXという言葉に踊らされ、超先進的なことに着手するのではなく、紙での申請の削減、公立学校におけるテストやアンケートのペーパーレス化・Web授業でも出席扱いにする等、泥臭い部分に注力した方が、後々プラスになると思う。	DXについては、デジタル化により日々の業務の効率化に寄与するものは多分にありますが、「変革のキーワード」は、地域経営の変革を起こす手段であるとの認識で定めています。事業展開においては、企業・大学などとの共創や本市が持つ豊かな自然環境など地域特性を活用しながら進めるとともに、一人ひとりができる取組を実践してもらえよう、分かりやすく取り組んでいく考えです。
27	そもそもデジタルトランスフォーメーション(DX)というような言葉自体の意味を理解できない方が多いようである。私の周りの高齢者は皆さんカタカナ用語がわからない、ついていけない、取り残されてしまったと嘆いている。	
28	DXも大切だが、例えば稟議書の多重化等々、まずIT化が実現しているのか、疑問を感じている。	
29	未来デザインを推進する市役所として、DXでどのようなデジタル・シティを描こうとしているのか示してほしい。市役所内の管理システムの統一は勿論、市民サービスへのシステム対応、国や都、保健所との連携などDXで効率的なシステム処理を行うには将来的にどういったデジタル・シティとするのかの“構想”が不可欠である。 “市内どこにいても不便はない”といったデジタル・シティになれば『地域自治』や『共創』活動の後押しにもなると考える。	
30	地域自治や共創などの基本的な考え方については良いと思うが、変革のキーワードに関しては、ともに現在の流行語ではあるものの、将来の八王子を考える上では少し「浅い」という印象を受ける。 「DX」については、2040年を考えるにはあまりに短期的な目標でしかないと言える。ここ5～10年の間にはそのような対応は完了しておかなければ、八王子の企業も取り残されてしまう。むしろ、将来にわたって考えるべきことは、情報化に遅れた企業等のDX対応というキャッチアップ作業よりは、情報産業等の新しい産業そのものをいかに八王子に根付かせるかということではないかと思う。	
31	CO2については日本はもう十分できていて大規模工場等が取り組む話で、国の手前、話し3分の1くらいでいいと思う。	
32	「カーボンニュートラル」については、そもそもヨーロッパが自身の競争力の確保のために打ち出した概念という側面もあり、そうした技術を持ち合わせていない発展途上国からも批判されている部分もある上に、世界情勢に端を発するエネルギー問題では肝心の欧州も腰砕けになっているようなところもあるが、ここでの問題は、日本の中でなぜ八王子が率先して行うべきものであるかということに必然性がないのではないかという点である。 八王子の位置づけを見るに、高度成長期に郊外型の住宅が立地し大きく発展してきたものが、年月を経るにつけその構成人員層が高齢化し、典型的な高齢化地域としての問題を抱えていること、また一方で、大都市近郊でありながら豊かな自然環境を抱えた地域であることという他の地域にはない特色を有しているものと思う。 そうであれば、その特色に応えるものを打ち出していくことが、八王子の施策として望ましいのではないかと思う。	

施策に関するご意見（４９件）		市の考え
都市像１「みんなで担う公共と協働のまち」を実現するための施策に関するご意見　＜５件＞		
３３	マイナンバー制度を有効利用できるよう推進していただきたい。引越し、結婚、出産、転職、死亡など、届出一つで煩雑な手続きが出来ることが理想である。それに伴い、お年寄りが取り残されないよう配慮をお願いしたい。	頂いたご提案は、幅広い世代の参加による市民協働、市民と行政の相互理解を深める情報収集・発信、わかりやすさや使いやすさ、安心感・信頼感を確保した自治体ＤＸの推進に向け、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
３４	自助、共助の部分で、普段の生活は元より、災害時の対応等で、加入数が市民全体の半数以下となっている現状がある中で、町会、自治会を当てにする考えをやめていただきたい。	
３５	未来八王子の基本構想・計画は各分野ごとに取りまとめられわかりやすかった。ただ、八王子の魅力・発信をより強いものにすることが必要なのではと考える。 商業発展圏、中心市街地圏、ニュータウン圏の魅力・発信を推進されると同時に、ＭＩＣＥ都市、廃棄物発電の稼働を開始を日本全国に知っていただけるとよい。八王子住民の意識を高める必要があると思う。	
３６	自治会の強化 今後ご近所の共助がますます必要だが、現在いづこも自治会員の減少、担い手の減少に苦しんでいる。 条例等で強化する方法を盛り込むよう提案する。	
３７	子供からお年寄りまで、みんながアイデアを出しあえる街 →八王子だけでなく、日本全体で選挙率の低下など、政治への関心が薄れている。そのため、せっかく持っているアイデアが市政にいかせていないことも多いと思う。八王子は大学も多く、新鮮なアイデアを生み出す若者も大勢いる。市民が参加できる・参加したいと思えるような取り組みがあれば、数多のアイデアをよりよい街をつくるためにいかせるのではないか。	

都市像2「健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち」を実現するための施策に関するご意見　＜5件＞		市の考え
38	「シニアのQOL(生活の質)の向上」の取組を提案させていただきたい。高齢化が進み、介護サービスがひっ迫してしまう恐れがあると同時に、出歩く機会が減り、いつの間にか社会的孤立に陥ってしまうシニア層が増えている。これらに対する取組は、まず、様々なカルチャースクールを開講しシニア層の参加を促す。そして、その講座修了者を対象に、今度は講師として子供向けの教室開講を企画し、雇用の創出につなげる。教える立場となることで、社会からの孤立感がなくなるところか、社会貢献できているという自己肯定感もうまれると思う。雇用に関がらなくても、好きな分野での活動により、積極的にコミュニケーションを築くことができればグループダイナミクスが効果的に働き、シニアのQOL向上が期待できる。小学生やその親達にとっては、放課後の居場所として遊びや学びの場が増える事は本当に有難い事である。	令和12年度(2030年度)までに重点的・分野横断的に取り組む内容の一つテーマとして、子どもから高齢者までの一人ひとりが主役となれるように「未来の主役づくり」を定めており、限りある経営資源を集中して投資していく考えです。 なお、頂いたご提案は、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
39	SDGs関連でも、若い世代は昼間仕事ですので、自然と電気使用料なども減るはず。逆に高齢者は暇なので、自宅にっぱなしですので、SDGs的にもメリット	
40	今の若い世代は車に乗らないので、昔見たいな走り屋、暴走族は絶滅危惧種であるから、高齢者が減れば、交通事故も減り、交通安全の町もアピールできる。	
41	若い世代は働くので、税収もアップするが、高齢者は求めるばかりで、生み出さないから、全てにおいて減収となる。	
42	基本計画の長期ビジョンからみても、そもそも、年寄り優遇を辞めれば全て自ずと達成すると思う。	

都市像3「生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち」を実現するための施策に関するご意見　＜14件＞		市の考え
43	所得制限の撤廃 23区が実施している18歳までの医療費の所得税の撤廃やその他、大学の奨学金等の所得制限を無くして、子共を親の収入で分けるのではなく一人の人間として平等に扱ってほしい。	NO47,48のご意見を踏まえ、一部文言の修正を検討します。 その他頂いたご意見は、子育て子育て支援の充実をはじめ、心身ともに健やかな成長を支える学校教育の充実、スポーツや学びを通してつながりを育む生涯学習の推進に向け、今後の施策展開の参考とさせていただきます。 なお、令和12年度(2030年度)までに重点的・分野横断的に取り組む重点テーマ・取組方針を定め、地域全体で子育てを支える取組や子どもの「生きる力」、一人ひとりの「自己実現力」を育む取組などに、限りある経営資源を集中して投資していく考えです。
44	子育て世代への負担軽減策 国が廃止した年少扶養控除に変わる控除の制度の復活をお願いしたい。八王子市に住んでいる子育て世代が安心した生活が送れるよう、また、八王子市に住み続けたいと感じるような環境作りをお願いしたい。	
45	【子どもが暮らしやすい社会】というのは、すなわち【保護者である親が日常で負担を感じにくい社会】と同義と考える。なぜなら、子の成長には大人のサポートが必須で、ならば保護者の負担感と子どもの健やかな成長の関係は密接だからである。共働き世帯は増えている。ぜひ「親なんだから子のために疲弊しろ」と突き放すのではなく、保護者の負担軽減に目を向けて欲しい。その願いを込め、【都市像3】を叶えるための、より具体的な施策案　～　を求める。 保育園から送迎バスの実施。 学童・放課後こども教室の拡充 児童館の拡充 中学校給食を全自校式への変更 児童手当の「19歳の誕生日の当月」までの受給の実施 児童手当や私立高校授業料無償化の所得制限の撤廃	
46	子ども、若者が集まる、集まりやすい居場所や、八王子見どころ（魅力）のインパクトが弱いように思う。	
47	施策番号15「生きる力を育む学校教育の推進」に関する意見 15-2「豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」（P67） 意見：「多様な価値観に基づく進路選択による児童・生徒の自己肯定感の醸成」という表現は、多様な進路選択を尊重することだけが自己肯定感を大きく醸成するという認識に根差しているという誤解を与えないよう、表現を見直す必要があると考える。	
48	施策番号15「生きる力を育む学校教育の推進」に関する意見 15-3「児童・生徒に応じた支援の充実」に関する意見（P67） 意見：「オンラインを活用した情報共有や相談体制の強化」という表現は、主体が教員のみなのか、状況に応じて保護者を含むのかどうか、それが分かる表現が必要だと考える。	
49	施策番号16「地域とともにある学校づくり」に関する意見 16-1「家庭・地域の力を活かした教育の充実」（P68） 意見：「地域学校協働活動の担い手の育成」という施策を追加することが、有効であると考え。	
50	施策番号17「子どもの学びを支える教育環境の充実」に関する意見 17-1「教育環境の整備・充実」（P69） 意見：「八王子市版GIGAスクール構想で導入したデジタル環境の活用推進」という施策については、基本計画をマスタープラン等にブレイクダウンする過程で結構かとは思いますが、施策実現のための具体的アクションとして「学校施設内の通信環境のスペック適正化」を折り込む必要があると考える。	

51	市民球場の件 八王子市民球場がダサすぎる。球場内は水はけのよい芝生、土を入れる。スタンド席数を増やし最低1万人以上収容できるスタジアムにする。座席はアバンギャルド的なモノにしてスペースを広く取り、他球場にない設備を入れる。売店もしくはコンビニ、トイレなどの充実も図る。ボールパーク化する。野球の試合のみならず野外コンサートなどでも使用できるようにする。騒音や照明などで場所の問題があるなら移設、新設してもかまわない。富士森の場所がベストだとは思わない。駅から遠いし駐車場もないから。客も車で来場できるように、駐車場を作る。今は関係者しか駐車できないのでもっと客目線でモノを考える。
52	別所エリアは、ある程度の住民がいるのにスポーツ施設等の市のサービスが少ない気がする。
53	学生の自学習、催し、集会を無料でできるような環境が少なく感じる。 八王子は図書館も少なく、無料で自習できる場所が少ない。そのため、カフェなどで勉強している方をたくさん見かける。自宅以外にも集中して自学習できる場所が必要だと思う。 武蔵野市では市のコミュニティセンターが充実していて、自学習をできる環境が整っている。視察などをして参考にしたいだけと一目瞭然だと思う。
54	私は他自治体の公共図書館で、業務委託された会社員として勤務している者である。原案を読み、それに照らして現在体験的に感じていることを記す。 施策18:学びの循環を生み出す生涯学習の推進 訪れる利用者は他市住民を含め、生涯学習の場であることを日々実感している。一方で、生涯学習のみならず、福祉的要素も図書館には強く求められている、ということである。 原案の後半、課題にあるように、市民生活、市民構成における問題の多様化、複雑化、重層化、は著しいものがある。たいへん大雑把に言えば、俗にいう縦割り行政の弊害で、民間であれば横断的に解決できる問題が、不要に重層化、複雑化を招いている面もあるのではないか。 福祉に繋がりたいのに直ぐに繋げることができない、という出来事、そこには「個人情報」というもうひとつの壁もあり、個人を守りつつ疎外している、という矛盾も生じている。 教育現場(学校)との連携も余りないようで、資材は豊富にあるのに活かされていない、と感じる。
55	JR、民鉄の駅周辺（近辺）にミニ図書館の設置 ・高齢者の憩いの場所、新聞・雑誌の読書場所となる。
56	小中学生の学習補助（寺子屋学習室の充実） 一昨年からコロナ禍の影響もあり、学校休校・学級閉鎖が続き、特に新中学生の学力低下がみられる。基礎知識を知らないままに宿題が多く出されても取組み方法、進め方が分からない子が多くみられる。 また、家庭都合で塾に行けない子、塾でも受け付けてもらえない子、同学年生と並走できない子が多くいる。現在少子化で生徒数も少なくなり、教室に余裕が出てきている。 ・この余裕が出来た教室を「寺子屋学習室」として有効活用すべきと思う。ここで学習補助としてシニアが指導する。 ・教員資格が無くとも、実務経験を生かしヒントを与えることにより、勉強の必要性、楽しさを知り全体のレベルアップをはかる。

都市像 4 「安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち」を実現するための施策に関するご意見　＜ 8 件＞		市の考え
57	自動車を中心に使われる交通政策から公共交通機関やオンデマンド交通、を基盤にしたMaaSの本格的な導入を行ってほしい。現在、八王子市が保持している交通資源は豊富でありながら、有効活用できていない印象(乗り継ぎの待ち時間が長い・駅前にタクシーが集中している)を受けている。そのため、八王子が主体としてMaaSにて得られる情報やデータを用いて、今までと大きく変化するモビリティ新時代に対応してほしいと思う。	令和12年度(2030年度)までに重点的・分野横断的に取り組む重点テーマ・取組方針を定め、強靱なまちづくり、ウォーカブルなまちづくりなどに、限りある経営資源を集中して投資していく考えです。 なお、頂いたご意見は、都市景観、都市緑化など自然と共生した地域の多様性を活かしたまちづくりをはじめ、都市の防災機能、地域の防災・防犯機能の強化、安全な道路環境、環境負荷の少ない安心・快適な交通環境づくり等の推進に向け、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
58	<市民が安心・安全に暮らせる街作り> 市内には狭くて危険な道路が多数箇所存在するが、子供達、高齢者そして全ての市民の安全な生活のために2040年を目標に危険箇所を一掃することを目指していただきたい。歩行者、自転車、車椅子などの安全な通行を実現するための道路の改善、段差の一掃バリアフリー化を目指し小さな子供から高齢者まで安全で安心して外出できる町づくりを目指していただきたい。先進国の道路として景観是最悪であるため、市民が誇りを持てる景観作りも同時にお願いしたい。まずは要改善箇所のリストアップと改善計画の立案からである。	
59	施策番号22　魅力ある持続可能なまちづくり ・「■低炭素とレジリエンス性を兼ね備えた自立分散型エネルギーシステムの導入促進」を追記してはいかがか ・「■市内にある国・東京都の未利用地などについては、まちづくりの視点に立った利活用が求められています。」を「■市内にある国・東京都の未利用地などについては、低炭素なまちづくりの視点に立った利活用が求められています。」へ修正してはいかがか。 施策番号23　人と自然にやさしいまちづくり ・「■低炭素とレジリエンス性を兼ね備えた自立分散型エネルギーシステムの導入促進」を追記してはいかがか。 施策番号24　強さとしなやかさを持ったまちづくり ・「■自立分散型エネルギーシステムの導入促進」を追記してはいかがか。 ・■首都直下地震の発生や、避難所での感染症拡大が危惧される中で、大きな揺れでも倒壊せず在宅避難ができる、災害に強い住宅が求められています。」を「■首都直下地震の発生や、避難所での感染症拡大が危惧される中で、大きな揺れでも倒壊せず在宅避難ができ、電源の二重化などの災害に強い住宅が求められています。」へ修正してはいかがか。 <理由> 災害時においても業務を継続できる機能を強化し、災害に強いまちづくりを推進するためには、避難された市民の方や働く市民が安全で安心かつ平常時の日常生活に近い環境を提供することが重要である。例えば、避難生活に必要な発電設備等の導入を進めるとともに、エネルギー供給途絶に対応するために多重化・多様化の観点が必要不可欠と考える。さらに、災害による大規模停電発生時の72時間を超える停電に対する備えとして、高効率なコージェネレーションの自立分散型エネルギーシステムによる電源の自立化・多重化の設備導入を検討し、エネルギーの確保を図ることが重要と考える。	

60	○施策番号 22 「魅力ある持続可能なまちづくり」に関する意見 22-3「主要駅周辺の拠点・回遊空間の形成」（P74） 意見 保健所跡地に計画中の都市型広場を「旭町・明神町周辺地区再開発計画」の中で、今後計画される商業業務施設や居住施設とならぶ中核施設の一つと位置付け、周辺環境との調和を優先に計画を進めるとともに、中心市街地活性化基本計画 第二期 中心市街地活性化の方針「八王子らしさを感じ巡りたくなるまち」（P60）や現在開催中の「みんなで考える都市型広場ワークショップ」などから寄せられる市民からの意見・要望を受け止めて頂き、中心市街地における積年の課題である「来心地良く居心地いいウォーカブルタウン八王子」の早期実現につなげて頂きたい。
61	○施策番号 23 「人と自然にやさしいまちづくり」に関する意見 23-2「都市緑化の推進」（P75） 意見 特定生産緑地の指定により、危惧された生産緑地の急激な減少傾向はみられず、八王子市においても2022年問題は回避されつつあるが、2022年以降買取申出が一定程度発生することが見込まれる。 生産緑地は、都市緑地として保全されてきた貴重なオープンスペースであるため、地域の実績に合わせて、地方自治体がいり取って都市公園等として活用し、引き続きオープンスペースとして保全することは重要である。 一方、地方自治体も厳しい財政状況の中、買い取った生産緑地を活用するための具体の計画がない場合には、買い取りが進まないところであり、実際に買取申出に対してそれに応じる地方自治体は多くはない。そのため、都市と緑・農が共生するまちづくりに向けては、地域における都市農地の位置付けや都市における農地を含むオープンスペースの在り方について、予め方針を定めておくなどして、計画的な対応を行うことが望ましい。 八王子市においては、みどりの基本計画や各地区の地区計画などを通して丁寧に対応しているが、具体的に絵姿が見えない状況と推察している。近々発生が予想される買取申出や、期限である10年毎の特定生産緑地登録時期における同様の事態に対応するために、是非八王子らしい都市農地と住宅市街地が緩やかに調和した具体の絵姿を獲得し、公表して頂くよう要望する。
62	街並みを ・「きれいにし隊」、「子供・高齢者等への安全・防災見守り隊」。 ・「安全パトロール」「安全指導員」「防犯パトロール」・・・等の設置
63	防災対策として緊急用品倉庫の設置と防災意識の向上・訓練 東日本大震災から10年が過ぎた。日本は昔から地震が多く発生し慣れっこになっているが、東日本大震災で目が覚められたと思う。 私は福島県いわき市にボランティア活動として滞在し、約半年間瓦礫撤去、炊出し、支援物資配布を行った。その時の経験を踏まえて・・・。 ・小・中学校を含め高校・大学校及び大型公園は児童・生徒・地域住民の避難場所となる。その為に敷地内の片隅に防災設備の予備品・緊急食糧（3～7日間）の貯蔵庫を設置する。 ・大型・高層マンションは災害時に避難することも出来ず部屋に留まらざるをえない。その為に防災用品・緊急食糧（3～7日間）の備蓄義務を指導する。また住民台帳、緊急対応機器の定期点検の義務付けをする。 ・八王子市にもハザードマップがあるが、富士山が数年前から微動が続いている。何時噴火するか分からないが一旦噴火すると八王子市内には10 c m程度の灰が積もるといわれている。交通渋滞、呼吸困難、灰の表層雪崩、河川の氾濫が懸念される。 ・近くに立川断層が走っている。大きな地震でこの断層に亀裂、隆起が生じるとビル・家屋の倒壊、土砂崩れ、道路寸断、水道断水、多摩川・浅川の氾濫、オイルターミナル損壊などが予想される。 ・小・中・高・大学の学校、地域ブロックごとに防災訓練、避難訓練、A E D の使用方法について定期的に実施する。
64	八王子市には田園、山岳地も残っている。若い家族が移住、住み着くような施策を盛り込んで欲しい。

都市像5「魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち」を実現するための施策に関するご意見 < 5 件 >		市の考え
65	中心市街地に、市外から来たくような街 →高尾山など、多くの人を訪れる観光スポットを持っているため、その立地を活かし、中心市街地にも多くの人を誘導できるようにしていきたい。 →かつての甲州街道上のアーケードの復活・放射線通りや駅前でのイベント開催や、大規模な商店街の魅力を発信していく取り組みを行う	頂いたご意見は、地域資源を活かし、まちの活力を創出するとともに、まちの魅力を向上させる地域産業の振興に向け、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
66	MICEの誘致については、八王子市では厳しいと思う。ドイツのフランクフルトやケルンをご覧くださいと分かんと思うが、会議場や見本市会場、宿泊施設、交通機関などの規模を整えるのは敷地的にもムリがあると思う。江東区や横浜市にお任せでいいと思う。 むしろ、爆発するであるインバウンド需要を上手に取り込むべく、早急に高尾エリアに超高級宿泊施設を誘致する検討をした方がいいと思う。	
67	起業に力を入れるのなら、多くの大学が誘致できているので、大学発のベンチャーを支援できる施設を用意して、それにより近隣に住む若年層も増えると思う。	
68	この計画では2040年を思い描くことはできない。なぜなら、八王子がどうやって食べていくかが見えないからである。昭和の時代は「織物の町八王子」というスローガンがあった。地域産業の基盤強化だけでは稼げる産業の育成は無理であろう。八王子として主体的に稼げる産業育成が重要と考える。都と連携するだけでは稼げない。世の中の価値観を左右する産業（企業）の育成に重点を。八王子の主体性を出していただきたい。このデザイン内容なら他の市でもそのまま使える。	
69	道の駅の増設 八王子市内・郊外・近郊都市にはまだまだ多くの農家がある。新鮮な野菜・果物が安く、スーパーや自宅軒先で販売されている。道の駅を増設すれば、より農家の方々の活性化が図られると思う。	

都市像 6 「一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち」を実現するための施策に関するご意見　＜ 2 件 ＞		市の考え
70	施策番号 3 4　オール八王子で取り組む脱炭素まちづくり ・「 ■ オール八王子で取り組む脱炭素まちづくり 」を「 ■ オール八王子で取り組む脱炭素化に向けたまちづくり 」に修正してはいかがか。 <理由> 2 0 4 0 年においては、政府が掲げる脱炭素化「 2 0 5 0 年カーボンニュートラル宣言 」への移行期ととらえ、低炭素化の促進とメタネーション技術などの脱炭素化の検証が必要と考える。 ・施策をイメージした写真に、具体的に検証が進められているメタネーション技術による「 e-methane 」利活用にて実現可能な脱炭素化のイメージ図を挿入してはいかがか。	NO70のご意見を踏まえ、一部文言の修正を検討します。 なお、「水質」に関連する取組については、「施策37」の細施策1「水循環の再生と水質保全」に位置付けて整理しています。
71	施策番号 3 7　安全で良好な生活環境の確保 ・「 ■ 公害の規制指導及び自然環境に配慮した工場への転換・誘導による大気汚染の防止 」を「 ■ 公害の規制指導及び自然環境に配慮した工場への転換・誘導による大気汚染・水質汚染の防止 」に修正してはいかがか。 ・「 ■ 環境汚染の対策については、事業者などへの規制・指導や環境監視により市民の生活環境の保全をはかってきました。引き続き、「大気汚染防止法」などに基つき、更にきめ細かな規制・指導が必要です。」を「 ■ 環境汚染の対策については、事業者などへの規制・指導や環境監視により市民の生活環境の保全をはかってきました。引き続き、「大気汚染防止法」・「水質汚濁防止法」などに基つき、更にきめ細かな規制・指導が必要です。」に修正してはいかがか。 <理由> 天然ガスが、石油や石炭と比べた燃焼時のCO2排出量が最も少ない化石燃料である。大気汚染の原因となるNOx（窒素酸化物）の発生も極めて少なく、SOx（硫黄酸化物）の排出量もほとんどない。また液体燃料の漏洩による土壌汚染・水質汚染も天然ガスは起こらない。	

複数の都市像に関連するご意見　＜ 1 0 件 ＞		市の考え
72	時代の移り変わりで、スーパーや商店の閉店により買い物難民の地域ができている。市の後押しで、移動販売のための車を購入して委託販売してもらうなどいかがか。	八王子未来デザイン2040では、ご意見の趣旨である分野横断的な取組につなげるため、重点テーマ・取組方針を定め、地域資源を最大限活用しながら取り組んでいく考えです。 なお、頂いたご意見は、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
73	みんなで目指す2040年の姿　　に関連する施策を提案したい。細部詰められていませんが、できることがあれば何か行動を起こしていきたい。 提案内容：産業上発生する食品ロスを転換し、若者と働く親にも豊かな食を。 食品メーカー、流通業者の集まる八王子市には、日々消費しきれない食品（主に原材料）ロスが発生している。現状、フードバンクへの接続も不十分で、廃棄に回さざるを得ない状況。 子ども食堂の機能を高校、大学の食堂に導入。 食材を　で集め、自由に食事が得られる環境の創出を図る。給食システムは取らず、できる量、できる範囲からスタート。 コロナ禍で失われてしまった、一緒に食事をとり、対話する豊かさを再創出する。働く親の増加で、弁当準備、栄養バランス不足に悩む家庭も支える。	
74	<伝統文化・工芸を維持・継承・発展させるための街（地区）作り> 日本全体の課題として伝統文化、伝統工芸、町工場（日本の高度成長を支えてきた）などの維持継承がある。八王子も八王子織物、八王子車人形、独自技術を持った町工場など多くの守るべき伝統、技術を保有しているが、その維持継承は簡単ではない。町工場は大企業の下請けではなく生き残れる道を模索し挑戦している。そこで、八王子市内に伝統文化・技術継承のための街（地区）を作り集約することでお互いの伝統を有機的かつ効率的に結びつけ新たな発展を目指すべきであると思う。街（地区）の景観も昭和の雰囲気醸し出し（または逆に21世紀にふさわしいモダンな雰囲気）飲食店・お土産店なども集めれば都心から気軽に来られる観光地とすることもできる。場所は他の観光地（高尾山等）の近くで相乗効果を狙うのか、または、八王子駅から徒歩圏が良いのかは十分議論して決めれば良いと思う。拡張案として都内に点在する伝統工房、町工場などを誘致し都内の名所とすることも考えられる。若者が興味を持つきっかけとなり継承者の育成、雇用の拡大につなげて八王子市の発展に繋がれば良い相乗効果が期待できる。	
75	「地域産業である製糸織物産業を地球に優しい未来型産業へ」 2 0 4 0 年に八王子市が目指す未来都市像の施策の中で、特に都市像 5（魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち）、都市像 6（一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち）実現のための私のアイデアを提案する。 八王子市は、古くから製糸織物産業が栄えてきた。この産業の持つ特徴を生かして未来に向かって更に発展させるカーボンゼロ、無排水工場による地域産業発展の提案である。本提案の実施により、八王子ならではの、地球に優しい未来型産業として製糸織物産業を発展させることができると考える。	
76	高齢化に関しては、地域のコミュニティ作りが極めて大切なものになると思う。あるいは、使い易い情報化の普及がその助けになるかもしれない。 一方で、八王子が発展していくためには、若年層の導入を図らなければならないが、大都市圏における豊かな自然環境というのはその鍵となるはずのものである。それを梃子に本格的な子育て世代のための施策をパッケージで用意していくことが将来の八王子にとって極めて重要なことだと考える。情報等の新しい産業の育成も、それらとマッチした形で進めていくことが可能／ベストではないかと思う。	
77	歴史のアピールと健康増強 八王子市には「よこやまの道」「戦車道」「唐木田の道」「絹の道」「長池公園」「戦時中の高尾地下工場」その他多くの史跡・見処がある。 ・ウォーキングを兼ね歴史の勉強と郷土への愛着を育て、高齢者の健康維持・体力増強を目指し医療費の低減を目指す。	

78	「中学校の部活動のスクラップ＆ビルド」の取組を提案させていただきたい。少子化により中学校の生徒数が激減し、部活動が限られてしまっている中学校がある一方で、活発な部活動ができている中学校もある。進学する中学校を選ぶ現在の制度だと後者の方が魅力的にうつり、ますます生徒数に偏りがでてしまっているように思える。そこで、部活動を学校単位ではなく、地域単位で組織してみるのはいかがか。民間の専門機関と提携して、プロの先生をコーチや顧問に迎えると子供達の技能発達の可能性も広がると思う。本格的な部活とは別にサークル活動も取り入れ、中学生だけでなくシニアもメンバーに加入できるように組織し、世代をまたいだ交流を創出する。日頃から中学生とシニアの交流があると、災害時にも大きな力を発揮することができると思う。目指すのは江戸時代の長屋スタイルの生活環境である。人手が欲しい子育て世代、スキルをもち、疎外感を感じているシニア世代。両者が交わる環境を整える事ができれば、子供も有意義な時間を過ごすことができ、親世代も安心して働きにできることができると思う。シニア世代も新しい役割を担うライフステージを獲得できると思う。最終的には、目標とするみんなで担う公共と協働のまちの実現に近づけると思う。
79	結婚相談所の件 市で結婚相談所みたいなのをやってほしい。市内在住者中心で出会いの場を提供してほしい。会員制で有料でも無料でも良い。民間業者は何十万円も会費がかかるところもあり、そこは公として考慮していただきたい。出会いがあり婚姻率が上がれば子供も増えるはずである。そしてお互いが市内在住であればその後も八王子に住み続ける可能性も高いであろう。結婚できないから出生数も減少しているのはデータが示していて、結婚できないのは収入が減少しているからである。子供のサポートも良いが、出会い、結婚までのサポートを充実させていくべきである。行政は真面目に少子高齢化問題に積極的に取り組むべきだと思う。
80	昔から八王子市に住んでるが、手入れがされないところがあり、町の景観が悪くなっている箇所が見受けられる。 市の中でぎわっている箇所があるにもかかわらず、手入れされない状態が放置されていることは地元愛からも大変もったいないと感じている。 他の市などは財政も多少余裕があるのか、重点的にメンテナンスする箇所を決めているのか、景観がきれいに保たれており地域の景観と資産価値が保たれることにもつながっている。 費用面の課題などもあり八王子市では、例えば街の景観をよくしたいと考えているボランティア、メンテナンス経験のあるシニア指導ボランティアを、本格的に市の運営に取り入れるというアイデアはいかがか。
81	多摩地区に第2の山手線、第2の筑波都市を構築 多摩地区には都心に比べ山あり、清流あり、緑地が多くある。 ・グリーンウォーク商店街、イーアース高尾等の大型店舗 ・東京医科大、東海大学、昭和医科大等の医療機関 ・東京都立大、中央大、明星大、法政大、多摩美大など多くの大学、高専 ・高尾山、陣馬山、小山内裏公園、蓮生寺公園、長池公園、大栗川遊歩道 近郊都市部には津久井湖、相模湖、昭和記念公園など大規模公園がある。 ・JR橋本駅（神奈川県相模原市）のりニア新幹線駅（JR東海）の新設工事 ・多摩モノレールを多摩センター駅から延長して南大沢、相模原、橋本、高尾、八王子、拝島、立川を結ぶ路線を新設し多摩循環線（第2山手線）を新設 ・八王子市を恵まれた観光、情報・技術、医療機関のゲートウェイとし 100万都市を目指す。さらに多摩地区に第2の山手線、第2の筑波都市を構築する。

基本構想に関するご意見（2件）		市の考え
82	2012年度版基本構想作成ステップに於いて少し課題を残したと思う。 ブランドメッセージ”あなたのみちを、あるけるまち。八王子”はイメージづくりの一側面として効果的と思う。 一方で、6つの基本方針が急に一般論として展開されていてどこの市町でも使える内容である。 追加すべき方針7として、『全市民が10 - 20年後の八王子の具体的な絵を頭の中にイメージできるようなコンセプトを作れ』と入れるべきであった。 近隣の町～外国の見習いたい自治体はどのようなテーマ設定し展開してきたのか、その結果現状は？などのベンチマークを入れた方が良かったと思う。	基本構想を継承したうえで、基本計画では、市民の皆様一人ひとりが未来のことを考え、明確化した目標を共有しながら行動することができるよう、多くの市民の皆様の声を聴取し、“市民の暮らしや理想の状態”である「みんなで目指す2040年の姿」を目標として定めています。 なお、本市は、これまで「世界連邦平和都市宣言」及び「非核平和都市宣言」を行い、平和行政を推進してきました。世界の恒久平和は人類共通の願いであり、引き続き、各論「施策07」において、「平和・人権意識の醸成」を位置付け取り組んでいきます。
83	原案では現在の八王子市が抱える現状と課題を的確に把握し、これらの諸課題を踏まえ2040構想がまとめられている。しかし、最近のコロナ禍による行動制限、エネルギー危機や物価高騰、超インフレ、円安など、更には近隣諸国の外的インパクトによる不安定要因に直面している。このような状況下、平和と共存共栄を希求する世界市民として国際社会の平和構築、人類共存に貢献する八王子市および市民のための目標も構想の中に明記することが必要ではないかと感じる。 八王子市および市民の繁栄と安定は世界平和の上に構築されるものであり、そのためには何を為すべきかという課題に柔軟に対応することが求められている。	

その他のご意見（3件）		市の考え
84	他市に住んでいる私にとって、八王子市は各分野においてとてもユニークで先進的な政策を実施しており、大変魅力的な『まち』だと学習を通じて印象を受けている。今後も八王子市の政策や行動を『一市民』として見ていきたいと思う。	「八王子未来デザイン2040」を多くの市民の皆様と共有し、様々な変化に柔軟に対応しながら協働のまちづくりを進めていきたいと考えています。
85	長期ビジョンに共感した。自治体が明確な目標を示すことは重要だと思う。	なお、ご指摘いただいた点は、今後の業務改善の参考とさせていただきます。
86	八王子市役所に行った際に、職員のレスポンスがつかめたいと感じた。	